

nouvelle Fontaine

発行日 2020年1月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

塩田千春展 | 永遠の糸 開催します

3館合同事業では毎年、マドカホール・南海浪切ホール・自泉会館の3館が市民と共に取り組む事業を考えています。
今年度は「塩田千春展 永遠の糸」

塩田千春氏はヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表に選ばれるなど、世界各地の国際展に多数招聘・参加されてきました。令和元年6月20日～10月27日まで東京の「森美術館」で開催された個展には66万6千人が訪れ、糸を使った大規模な作品が国内外で評価されています。

塩田千春氏ってどんな方なんだろう。このような作品はどのようにして生まれてきたのだろう。現代アートって何だろう。……などなど、とても興味がありますね。

いろいろな思いを抱いてこの展覧会にお越しください。きっと素敵な何かを見つけていただけると信じています。

【展示期間】 2020年2月5日(水)～3月15日(日) 月曜日・3月10日(火)を除いて開催。

平日:10時～17時 土日祝:10時～20時(入場は閉場30分前まで)

入場無料

【場 所】 マドカホール(展示場) 岸和田市荒木町1-17-1

【内 容】 塩田氏の代表作である糸を使った作品をメインに、作品パネル展示も行います。

2月5日(水)午前10時より

展示場前ロビーにてオープニングセレモニー。

塩田千春氏による作品説明もあります。

詳細・申込方法は、チラシまたは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/10/chiharu-shiota.html>

【塩田千春氏プロフィール】

1972年生まれ、大阪府岸和田市出身。ベルリン在住。

地元小中学校を経て、府立港南造形高等学校(当時:府立港南高等学校)、京都精華大学洋画科卒業。

生と死という人間の根源的な問題に向き合い「生きることは何か」「存在とは何か」を探索しつつ、その場所やものに宿る記憶といった不在の中の存在感を糸で紡ぐ大規模なインスタレーションを中心に、立体、写真、映像など多様な手法を用いた作品を制作。2008年、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2015年には、第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表作家として選出される。

森美術館(2019年)南オーストラリア美術館(2018年)ヨークシャー彫刻公園(2018年)高知県立美術館(2013年)丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(2012年)国立国際美術館(大阪、2008年)を含む世界各地での個展のほか、シドニー・ビエンナーレ(2016年)瀬戸内国際芸術祭(2010年、2019年)キエフ国際現代美術ビエンナーレ(2012年)横浜トリエンナーレ(2001年)などの国際展にも多数参加。



《クロスロード》2019年 展示風景:『ホノルル・ビエンナーレ2019』ハワイ
写真: Christopher Rohrer

「蜻蛉池公園夢の森づくり隊」 として19年間活動

会長 小林 伸一



隊はボランティア・市民活動団体として岸和田市社会福祉協議会に登録しています。2001年4月に30名の会員で発足して大阪府営の蜻蛉池公園内の里山保存ゾーンである「ふれあいの森」約6haを拠点として活動し

ています。現在は子ども会員も含んで15名です。

会の発足当初より、毎月第2・4日曜日の10:00～15:00を基本的な活動時間として、植樹や遊歩道・散策路・ビオトープ(秀治郎池)の作成や整備等の里山保全活動、そして里山環境を子ども達に伝えるべく環境学習活動として年間5～6回のイベント(ファミリーメイト)を継続的に催し、遊具を使用しない環境で、森をキレイにする、苗木・花苗を植える、森で遊ぶ、竹で手作り品を作る、自分の手で食べ物を作るということにこだわりをもって、虫・植物・竹細工・ビオトープ・土・花・お茶そして食とのふれあいの場の提供を行ってきました。特に子どもたちが幼児から小学校5・6年生になるまでの間、その家族とともにリピーターとして毎年イベントに参加してもらえる準会員(ファミリーメイト)との位置づけで継続性を持たせて活動してきました。

2月にジャガイモの種芋を植え、孟宗竹でバウムクーヘンを作る。5月にサツマイモの苗を植え、竹でパンを焼く。6月にジャガイモを掘り、色んなイモ料理を作る。8月には竹で水鉄砲をつくり、流しそうめんを食べる。10月にはサツマイモ掘りをして、手作りした竹ぞり



焼き芋をほおぼる。そんな感じでここ十数年楽しんできました。

また、隊のもう一つの目的里山保全活動については、池に孟宗竹で栈橋をつくりビオトープとして整備したり、上総掘りという手法で井戸を掘ったり、ドングリから苗木を作りアベマキの木、お茶の木、桜の木、クヌギ、アジサイと色々植樹してきました。アベマキは今年の台風21号で倒れたものもありますが、20年近く経過して今や高さ15～6mで大きなドングリが生るようになりました。

現在力を入れているのが全国的にも問題となっています、荒れ果てる竹林問題として「竹の有効活動」です。

子ども対象のイベントにも竹を積極的に利用



します。昨年からフィールドでの活動とは別に「竹籠教室」なるものを蜻蛉池公園のスポーツハウス内で実施しています。また現在、ファミリーメイトで使用した竹ゲレンデを半分にして、ふれあいの森内の竹林遊歩道に竹の案内柵を設置する活動をしています。

最後に本記事を読まれている方の中で、こうした活動に興味がお有りの方、そして2月に作る大きな大きなバウムクーヘンづくりのイベントに興味がある子ども達、ご連絡いただけたら嬉しいのです。

090-6607-7901(小林)

また、ホームページにも隊の活動紹介をしていますのでご覧いただけたら、なお嬉しい限りです。

<https://ameblo.jp/yumemoritai/>
<http://yumemoritai.starfree.jp/>



めざせ！ 岸和田マイスター

【岸和田市内の神社について】

監修：江間 一夫



豊かな自然につつまれ、古くからの歴史、文化が継承されている岸和田市。その奥深さを再発見して、それらを多くの人に伝えましょう。

岸和田市の魅力あふれる不思議の扉を、問題形式で出題する「めざせ！岸和田マイスター」。今回は、岸和田市内の神社編です。

- 1 春木・弥栄神社の主祭神は？
- A 牛頭天王（ごずてんのう）
 - B 菅原道真
 - C 天照大神

- 2 西ノ内・兵主神社の主な霊験は？
- A 厄 除
 - B 雨 乞
 - C 芸 事

- 3 中井・夜疑神社の主な霊験は？
- A 縁 結
 - B 雨 乞
 - C 武 芸

- 4 沼・天神宮の創建時の主祭神は？
- A 牛頭天王
 - B 菅原道真
 - C 天照大神

- 5 岸城神社の創建時の主祭神は？
- A 牛頭天王
 - B 菅原道真
 - C 天照大神



- 6 土生神社創建に関わる人物は？
- A 豊臣秀吉
 - B 岡部宣勝
 - C 白河上皇

- 7 積川神社の神輿を寄進したのは？

- A 淀君
- B 岡部長泰
- C 白河上皇



- 8 土生滝・意賀美神社の主な霊験は？
- A 豊作
 - B 雨乞
 - C 無病息災

- 9 八田・矢代寸神社の主祭神と関わりのある氏族は？
- A 三好氏
 - B 菅原氏
 - C 波多氏

- 10 三の丸神社を勧請した藩主は？
- A 岡部宜勝
 - B 岡部行隆
 - C 岡部長泰

[参考：岡部氏歴代岸和田藩主]

- ①岡部宜勝 ②岡部行隆 ③岡部長泰 ④岡部長敬
- ⑤岡部長著 ⑥岡部長住 ⑦岡部長修 ⑧岡部長備
- ⑨岡部長慎 ⑩岡部長和 ⑪岡部長発 ⑫岡部長寛
- ⑬岡部長職

※解答は、7面に掲載しています。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

琉球舞踊

「めんそーれ沖縄舞踊クラブ」

琉球舞踊は、腰から上の動き、特に手の動きはインド舞踊を源流とする東南アジア諸国の踊りと共通した手振りです。腰から下、特に足のさばきは日本の能に似ているといわれています。

日本本土や中国、東南アジア諸国の強い影響を受けた、個性豊かな独特な芸能といえます。

「めんそーれ沖縄舞踊クラブ」は発足して18年になります。講座活動を入れると20年。

公民館祭りを始め、老人ホームや各種地域団体からの出演依頼があり、日頃の練習の成果を発揮し皆様に喜んで頂いています。しかし最近ではメンバーの家庭の事情(親や家族の介護、仕事、転居など)でボランティア活動が難しくなってきました。このような活動を長く続けていると、クラブ員の諸事情で退会されたりして会員が減少し、何度か不安なときもありましたが、いつも笑顔でみんなで元気に乗り越えてきました。技術とコミュニケーション力、リーダーシップ力にすぐれた武島久美子講師のお陰で楽しく練習に励んでいます。

歳を重ねると脳や体の動きが鈍くなると言われますが、踊りは脳を使い、リズムに乗って体を動かすので体力維持には最高の運動です。

私達は古典舞踊から創作舞踊まで習っていますので、ゆっくりと踊る古典や、軽快な雑踊り(ゾウウ



ドウイ)は静と動の両方を体験でき日常生活に刺激を与えてくれます。寒い朝などは軽快な曲を一曲踊るだけで体が温まり、スムーズに動けます。

また舞台では華やかな衣装とメイクで変身を楽しむことも出来るので、メンバー10人は和気藹々と毎月2回の稽古を頑張っています。

何か体を動かすものはないかと考えておられる方がいらっしゃいましたら男女を問わず是非、のぞきにお越し下さい。体験歓迎です。

昨年10月の首里城炎上は一同大変なショックを受けました。沖縄の踊りや三線を学んでいるメンバーにとって沖縄のシンボルが失われたようで、火災は夢であってほしいと嘆き悲しんでいます。今はあの美しい城が困難を乗り越えて再建されることを祈るばかりです。



<教室案内>

岸和田市立中央公民館
596-0072 大阪府岸和田市堺町 1-1
TEL 072-423-9615
月 2 回 第 2、4 火曜日 19:00 から
問い合わせ
遠藤美与子 bishou@wing.ocn.ne.jp



中国茶のルーツ、 日本のルーツ

☐中国茶のルーツについての講座

10月18日 王 静氏、津田 美起子氏

☐奈良・唐招提寺への旅～

11月4日 中国茶のルーツを探しに～

参加者人数 講座 14名
研修旅行 36名



唐招提寺



中国茶講座

今年の研修旅行は『中国茶のルーツを探しに』と銘打ち、奈良への旅でした。

その事前学習として王先生、津田先生による中国茶講座が催されました。会場の自泉会館ホールに茶器やお菓子が並べられ、講座というより素敵なお茶会の風情です。六種類のお茶を飲み、その歴史や作られた場所、お茶にまつわる文学などの話を伺いました。頂いたお茶は普段飲むウーロン茶とは色も味も全く違って、その奥深さの一角に触れたような気がします。それよりにより、講師のお二方がどんなにお茶が好きで、それを振る舞うことを楽しく喜んでいらっしゃるのかが印象的でした。

そして旅行当日、秋晴れの元、まずは鑑真和上の開かれた世界遺産・唐招提寺へ向かいます。堂々とした金堂

や講堂、圧巻の仏様、美しい苔のお庭などを自由に散策、瓦の文字や文様が時代ごとに違うのを見つけるのも、趣深いものでした。

次に向かうのは慈光院。石州流茶道の祖・片桐貞昌が父の菩提寺として建立したお寺で、精進料理の昼食です。ごま豆腐や野菜の焼き合わせ、きのこ御飯など味わい深いお料理でした。食後は見事に手入れされたお庭の見える書院で、ご住職の法話を拝聴します。御抹茶を振る舞って頂き、お寺の歴史やもてなしの意味合いを、わかりやすくお話くださいました。お茶を頂く茶室だけでなく、門をくぐったその瞬間からもてなしは始まるというお話が心に残りました。本堂では天井画の竜が鳴くのを体験。竜の下に立ち手を叩くとビーンと音が鳴るのです。一人一人本堂に入れてもらい、竜の鳴く声を聞いたのは有り難いことでした。

この後は世界遺産の薬師寺を拝観。唐招提寺からも見えていた二つの塔に圧倒されます。現在修復中の東塔は、数日前、何年かぶりでテントが開かれたそうでとてもラッキー！ここでも法話を聞きました。誰もが持つ心の病、そのために祈りがあるのだとか。それにしてもお坊様のお話上手なこと！どちらのお寺でも聞き惚れてしまいました。

並び立つ壮麗な伽藍や見目麗しい仏様を堪能し、河内ワイナリーでワインを楽しみ帰途につきました。

歴史ある寺院を巡り、お茶を含めどれほど多くの文物や意匠、学識が中国、さらにはシルクロードの向こうからもたらされたのかを目の当たりにしました。かつては異国の文化であったものが、今は日本のルーツといえる立場にある。文化は生きて常に流動しているのですね。鑑真和上や持統天皇に今の私たちが繋がっている。その末座に連なることに感動できた旅となりました。

法話とお茶
(慈光院)



精進料理食事中 (慈光院)



薬師寺で集合写真



「パピコ」とは…?

ヘルマンハーブとの出会い

はなだ ももぞう

「パピコ」とは私の持っている楽器の愛称です。アイスクリームではありません。

私は66歳の男性です。妻子が一人ずつ居て、福島市に住んでいます。事情があって私が出稼ぎをしています。実母が

岸和田市にいて、私は60歳で定年退職後、生まれ育った岸和田市で母親と暮らすことになりました。幸いなことに仕事先にも恵まれました。若い頃は大学のサークルに入り、バンドを組んでギターやマンドリンといった楽器の担当でした。音楽になじみがあり、今でもボブディランが大好きです。

ところで、関西で生活するようになって5年目のことです。職場の大先輩の奥様と昼食をともにする機会がありました。その際にヘルマンハーブという楽器の話になりました。ヘルマンハーブとはハーブの一種ですが「奏でる」というよりも「爪弾く」という弾き方をします。ドイツのヘルマン・フェーという方の息子さんがダウン症であり、家族みんなで楽器を弾いてアンサンブルをする際に彼も参加できるように簡単に弾ける楽器を…という目的で考案し開発したと聞きました。

その時、私は運命的な出会いを感じました。実は私の息子は重度の知的障害を伴う自閉症障害です。24歳で福祉就労をしています。ダウン症ではありませんが知的障害なので楽器はとても弾けません。私はヘルマンハーブが簡単に弾けることを知り、彼にもやらせてみようと思いました。奥様がインストラクターだとかがい、まず私が教えてもらい、早速、自分の楽器を購入し「パピコ」と名付けました。そして福島まで持っていき息子に弾き方を教えたところ、あっという間に基本を理解しました。まだ自分から弾こうとはしませんが「パピコ」「パピコ」と言い、馴染んでいきます。これからが楽しみです。家族でアンサンブルできたらええなあ！



カルトナージュ「用の美」

木村 早苗

幼い頃、母が黄色いギンガムチェックの生地で、妹とおそろいのちょうちん袖のワンピースを作ってくれた思い出があります。型紙作り、生地のカット、ミシンで縫製、すべての工程が結構難しくて…だから、ハマったのでしょう。

気づけば私は高校卒業後、服飾を勉強して婦人メーカーに入社し、パターン開発課で働いていました。色々ありましたが、今も婦人服の仕事の片隅にいます。

そんな私が10数年前、孫の誕生でカルトナージュと出会いました。可愛い写真を飾る写真立てやアルバムはないかしら？とネットで探していて若い作家さんの手作り紹介欄にあった“カルトナージュ”初めて目にしたワードでした。

ヨーロッパ生まれの手工芸。厚紙（カルト）で組み立てた箱などに、のりで布を貼ってリボンやチャームなどで飾る。創作の楽しさ、しかも作品は実用的で美しい。私の大好きな言葉、柳宗悦先生の「用の美」そのものです。

私は図書館で借りた本を先生に、空き箱をリメイクして美しい布箱を作っています。

ご縁が繋がって、地元岸和田でカルトナージュを教えてらっしゃる先生と親しくさせて頂き、本場フランスのカルトナージュのご指南をお願いしました。今年の作品展にその成果が表現できれば嬉しく思います。



Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

文化の日祝典記念事業「不思議大好き!イリュージョンマジック」 令和元年11月3日(日・祝)午前11時45分開演 場所:マドカホール 入場者数 330人

〈皆さんの声〉

- ◆マジックに加えおしゃべりも面白く、あっという間の1時間でした。
- ◆迫力のあるイリュージョンマジックを初めて見て楽しかった。
- ◆舞台と客席の一体感があり、マジックに見入ってしまいました。



知ってほしい「煉瓦製造の魅力」～岸和田・泉州地域～ 講演とパネルディスカッション 令和元年11月9日(土)午後1時 入場者数 110人

〈皆さんの声〉

- ◆地元のおっちゃんの話は興味津々で聞けておもしろかった。
- ◆幕末の煉瓦研究の話初めて聞き、煉瓦への興味が増えました。
- ◆北は北海道、南は沖縄・奄美大島より来られている方々がいたことに驚きました。
- ◆今回の催しで、いつも見ていた煉瓦のある風景がこんなに素敵に感じられたことに感謝です。



煉瓦に関する展示 令和元年11月9日(土)～10日(日) 午前10時～午後5時 入場者数 172人

〈皆さんの声〉

- ◆すべてにおいて稀にみる史上最大の催しでした。
- ◆国内最大規模の120点もの刻印のある煉瓦コレクションには圧巻でした。



煉瓦関係カ所見学会 令和元年11月10日(日)午前9時～ 参加者数 100人

〈皆さんの声〉

- ◆地元民から見ると刻印のある煉瓦は普通のことだと思っている方が多いかとは思いますが、外部の者にとってはとても興味深いものでした。
- ◆貝塚にあるテラボウに関係のない私たちが、社屋を見学させていただけるという貴重な機会に参加できたことを光栄に思います。



第59回自泉フレッシュコンサート 令和元年12月14日(土)午後6時30分開演 入場者数 73人

〈皆さんの声〉

- ◆透明感のある歌声で、また、1曲ずつ曲説明があるのは、わかりやすかった。
- ◆全身全霊のピアノ演奏に引き込まれました。
- ◆ピアノデュオの楽しい演奏は、つい歌ってしまいそうになりました。



第3回自泉クリスマス会(展示室) 令和元年12月14日(土)～15日(日)午前10時～午後5時 入場者数 174人

〈皆さんの声〉

- ◆可愛い作品があり、どれを作ろうかと迷いました。
- ◆自分一人で作ることはできませんが、教えていただくと素敵な作品ができました。
- ◆もっと作りたいけれど時間が足りませんでした。



第3回自泉クリスマス会(ホール) 令和元年12月15日(日)午後1時開演 入場者数 146人



〈皆さんの声〉

- ◆1台のピアノを囲みクリスマス会が開催され、音楽が聴けることは幸せだと思いました。
- ◆幼い子どもからシニアまで、それぞれに相当したパフォーマンスを展開されていた事に感動を覚えました。

JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO (自泉コンテンポラリーショートフィルム&ビデオ)

作品タイトル:「POP ECHO」
作家名:Thomas Schlottmann
上映期間:
令和元年10月3日(木)～10月27日(日)



作品タイトル:
「手で掴み、形作ったものは、その途中で崩れ始めた。
最後に痕跡は残るのだろうか。02_ライオン〈序章〉」
作家名:長坂 有希
上映期間:
令和元年10月29日(火)～11月24日(日)

作品タイトル:
「ハイライトシーン-数センチのポジショニング-」
作家名:飯川 雄大
上映期間:
令和元年11月26日(火)～12月28日(土)



令和2年1月～3月 今後の事業予定

※予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください。

令和2年3月まで	JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO 公募で選出または推薦作品を、自泉会館ホール壁面に、毎月1作品、午前9時から午後5時まで投影	2月2日(日) 2月5日(水)～ 3月15日(日)	市民参加型演劇「黄昏が恋しくて」 「塩田千春展 永遠の糸」(マドカホール展示室)
1月17日(金) ～28日(火)	現代アート展「HER/HISTORY」	2月22日(土)	第12回フレッシュプレミアムコンサート 最優秀受賞記念 中道亜莉沙ピアノリサイタル
1月25日(土)	現代アート展「HER/HISTORY」関連事業 連鎖ーアート×音楽ー原由莉子ピアノリサイタル	2月29日(土) 3月15日(日)	伊石昂平&奈良綾香デュオリサイタル 第13回フレッシュプレミアムコンサート
1月26日(日)	自泉ファミリーコンサート ～ジブリがいっぱい～		

お願い

岸和田文化事業協会では取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務局まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

【3面「めざせ!岸和田マイスター」の解答】

①A ②B ③B ④A ⑤C ⑥C ⑦A ⑧B ⑨C ⑩C

岸和田文化事業協会の事業 Information

JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO (自泉コンテンポラリーショートフィルム&ビデオ)

公募で選出または推薦作品を、自泉会館ホール壁面に投影しています。

期 間:令和2年3月まで毎月1作品、
午前9時から午後5時まで

(ただし、ホール事業等の妨げになる場合、投影しないこともあります。)

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <https://jisenart.jimdofree.com>

現代アート展「HER/HISTORY」

日 時:令和2年1月17日(金)～1月28日(火)
午前11時～午後6時(月曜日は休館日)

会 場:岸和田市立自泉会館展示室

入場料:無料

現代アート展「HER/HISTORY」関連事業

連鎖 —アート×音楽—

原由莉子ピアノリサイタル

日 時:1月25日(土)午後5時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:原 由莉子

入場料:前売1,000円(当日500円増)

自泉ファミリーコンサート

～ジブリがいっぱい～

日 時:1月26日(日)午後2時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:中原 真依(ヴァイオリン)

野地 紗由美(ヴァイオリン)

武 紘子(ピアノ)

木村 結(ピアノ)

入場料:子ども(高校生まで)無料 ※但し、整理券が必要です。
大 人 500円

市民参加型演劇公演「黄昏が恋しくて」

日 時:令和2年2月2日(日)

午後2時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

作・演出・指導:清水伸吾 (Shibaiya遊歩堂代表)

出演者:一般公募し、8月20日のオーディションで
選ばれ稽古を重ねてきた者

入場料:前売1,500円(当日500円増)

「塩田千春展 永遠の糸」

日 時:2月5日(水)～3月15日(日)

※月曜日と3/10(火)を除く

平 日▶午前10時～午後5時、

土日祝▶午前10時～午後8時

(入場は開場30分前まで)

会 場:マドカホール展示場

入場料:無料

第12回フレッシュプレミアムコンサート最優秀賞受賞記念 中道亜莉沙 ピアノリサイタル

日 時:2月22日(土)午後3時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:中道 亜莉沙

入場料:1,000円(当日500円増)

伊石昂平&奈良綾香 デュオリサイタル

日 時:2月29日(土)午後2時開演(30分前開場)

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:伊石 昂平(チェロ)・奈良 綾香(ピアノ)

入場料:2,000円

第13回フレッシュプレミアムコンサート

日 時:3月15日(日)午後2時

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:令和元年度自泉フレッシュコンサートで
優秀な成績をおさめられた方

入場料:一般前売 1,200円 (いずれも当日200円増)

会員前売 1,000円

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

2020年度(2020年4月～2021年3月)

会員募集

年会費	個人会員(1口)	2,000円	団体会員(1口)	5,000円
(入会費不要)	家族会員(1口)	1,000円	法人会員(1口)	10,000円
	(個人会員の同居家族)		特別会員(1口)	50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。

郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145

加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine

vol.66

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2020年1月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

近江和代・小木曾由季・黒木幸子・小末もとえ

編集後記...

新しい一年がスタートしました。

たくさんの方の出会いや、たくさんの方の縁に

恵まれますように。。

(近江 和代)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/>

岸和田文化事業協会

検索

